

視察^{見聞}レポート

他自治体の先進事例を勉強するために、3 常任委員会と議会運営委員会が行政視察研修を行いました。

総務文教常任委員会

平成 17 年に^{かだしも}堅下小学校で大阪教育大学の学生と地域ボランティアが指導員となり、放課後学習の場の提供及び自学・自習の力の育成を目指しました。一定の効果が見られたことから、順次市内の小学校に拡大し、平成 22 年度からは市内の全小学校（10 校）で実施しています。放課後の空き教室を利用し、2～6 年生までが週 1～3 回、宿題を中心に学習活動や特別活動を行っています。



大阪府柏原市
スタディ・アフター・スクール事業

市民厚生常任委員会

佐久総合病院では地域医療について視察しました。長野県東信地域の救命救急医療を担い、2012 年は 3,773 人を救急で受け入れ、病院としてドクターヘリの運行も受託しています。全国からの視察も多い同病院は、「予防は治療に勝る！」を基本に、病院力 10 として「入院患者への医療 5・外来患者への医療 3・地域住民の病気予防や安心して暮らせる地域活動 2」の割合で、病院と住民がともに健康を守る運動を進めています。



長野県佐久市
救命救急病院のあり方等について

産業建設常任委員会

盛岡手づくり村は、振興センター・手づくり工房・南部曲り家「150 年前の伝統的家屋」の施設で構成されており、来場者は 15 ある工房で制作工程の見学や手作り教室を体験できます。開業によって、つなぎ温泉郷の日帰り入浴室利用者数の大幅増や盛岡広域の修学旅行の目的地としても定着しています。地場産業の観点でも、南部鉄器など工芸品の販売促進が挙げられます。なお、2012 年の入場者数は 148 万人となっています。



岩手県盛岡市
盛岡手づくり村で説明を受ける

委員会と視察日	視察地	目的
産業建設常任委員会 (2013.10.7 ~ 10.9)	岩手県盛岡市	盛岡手づくり村について
	岩手県北上市	企業誘致について
	宮城県登米市	浄水場管理運営について
総務文教常任委員会 (2013.10.8 ~ 10.10)	大阪府泉南市	公立幼稚園再構築事業について
	大阪府柏原市	柏原市スタディ・アフター・スクール事業について
	大阪府池田市	池田市みんなで作るまち推進会議について
市民厚生常任委員会 (2013.10.15 ~ 10.17)	長野県千曲市	千曲市環境白書について
	長野県上田市	医師確保の取組みとひとまちげんき・健康プラザうえだについて
	長野県佐久市	救命救急病院のあり方等について
議会運営委員会 (2013.11.12 ~ 11.14)	群馬県渋川市	子ども安心カードについて
	島根県出雲市	議会改革の取り組みについて
	島根県浜田市	議会基本条例の制定過程と内容と議場と設備等の視察

聞いてきました・学んできました

議会運営委員会

出雲市議会は、平成 19 年、全国で 5 番目に議会基本条例を制定。制定による効果としては、議会運営がスムーズに行われるようになったとのこと。

本会議における一般質問は、市民にわかりやすく、論点を明確にするため一問一答方式を採用しています。議員の年間質問時間は 180 分に制限し、1 議会 45 分としています。

なお、議員定数削減については、議員定数調査特別委員会を設置し、34 人→32 人としています。



島根県出雲市
議会改革の取り組みについて

浜田市議会は、平成 23 年に議会基本条例を制定。政務活動費（調査費）の領収書を全て PDF で公開していることが評価され、マニフェスト大賞を受賞するなど、先進的な取り組みをしています。

また、議会モニターを公募で 6 人選び、本会議・全員協議会・委員会を傍聴していただいているほか、年 1 回の面談打ち合わせで感じていることを話してもらい、議会活動に生かしています。



島根県浜田市
議会基本条例、議場設備等について

このたびの視察で改めて感じたことは、市民に開かれた議会、市民に信頼される議会にしていかなければならないということです。
「全ては私たち議員の行動から始まる」と再認識した視察となりました。

ようこそ！ 燕市へ

議会広報 について ともに学ぶ

11 月 7 日、栃木県栃木市議会の「議会広報紙発行特別委員会」の皆さんが、「つばめ市議会ノートブック」の視察に来燕されました。
議会だよりづくりの悩みや課題は共通しています。お互いのよさを交流する機会となりました。

栃木市議会 小堀委員長にインタビュー
— 今日はおこしおこしいいただきました。栃木市さんの議会だよりと比較しながら、率直な印象などをお聞かせください。



燕市議会議場にて、栃木市議会議会広報紙発行特別委員会の皆さん。「いいものを取り入れていこう」ということで 2 年目の視察研修だそうです。



小堀委員長

改革していいものをつくっていくために、「真似をする」ことは大事なんだなと思いました。風当たりが強いこともありますが「市民にとってわかりやすく、見やすく、議会が身近に感じられるように」そして「決して」プれることなく発行していくことが私たちの使命なのかなと、「つばめ市議会ノートブック」から強く感じました。

